

アシストホイール[®]

本書は、アシストホイールシリーズで発生した、不安全な事例や事故に関連する取扱事項をまとめたものです。また、事故を防ぐために、使用前に必ず行っていただきたい点検についても記載しています。取扱説明書(別冊)を合わせてお読みいただき、安全にご使用ください。

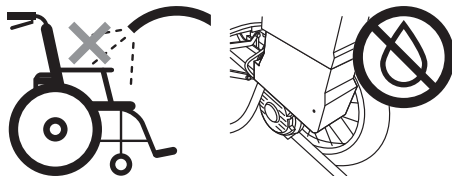
取扱上の注意事項

使用前点検や定期点検で異常が見つかった場合は、**使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。**

[水濡れによるセンサの誤動作]

雨の中での使用、雨水がかかる場所での保管、水洗いなど、車いすが水濡れする状況での使用、保管はしないでください。ハンドル内部のセンサなど、電気回路に水が侵入すると、本体が誤動作して事故につながるおそれがあります。突然の雨に対する防雨性能はありますが、ぬれたままで放置せず、右記の対処をしてください。

- 1 水濡れが発生した場合は、速やかに乾いた布で水を拭き、よく乾燥させてください。
- 2 乾燥後、車いすに異常がないことを確認してください。

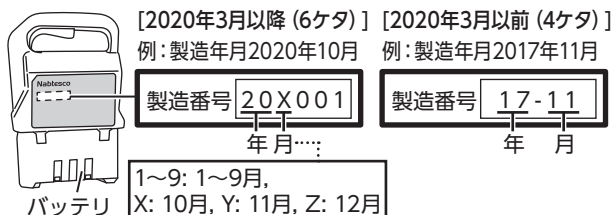


[バッテリーの定期交換]

劣化しているバッテリーは速やかに交換してください。走行中に突然アシスト力が失われると、事故につながるおそれがあります。

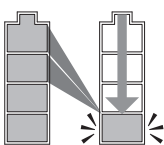
・ バッテリーの点検

バッテリー背面のシールに記載されている製造番号を確認します。製造年月から**2年経過**または**約500回充電**した場合は、バッテリーを交換してください。



・ アシスト機能の異常表示

バッテリー残量表示が3～4個点灯時、急に1個点滅まで減少した場合は、バッテリーの劣化や機器の異常の可能性があります。**使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。**



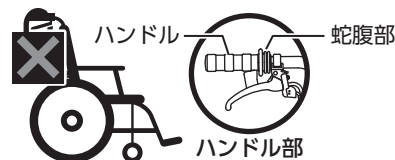
[ハンドル部や配線の取扱注意]

センサの故障や断線などが起こらないよう、注意して取り扱ってください。

・ ハンドル部のセンサ

ハンドル部に荷物をかけたり、ハンドルの蛇腹部をむやみに触ったりしないでください。

ハンドル部に内蔵しているセンサに不具合が発生すると、誤動作の原因となり、事故につながるおそれがあります。



・ 車いすの配線

機器をつなぐ配線を引っ張らないでください。断線するとアシスト機能が失われます。

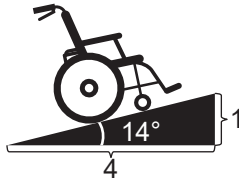


【登坂角度】

車体の安定性を確保するため、機種ごとに定められている最大登坂角度を守ってください。制限角度を超える坂やスロープで使用すると、バランスを崩して転倒するおそれがあります。

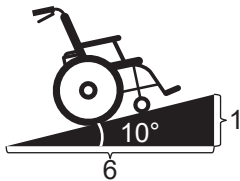
・ハイパワー型アシストホイール

最大登坂角度＝
14°（約 1/4）



・アシストホイールライト

最大登坂角度＝
10°（約 1/6）



【電源 OFF の徹底】

介助者が車いすから離れるときは、必ず平地で電源を切り、駐車ブレーキをかけてください。電源 ON の状態で車いすを放置すると、以下のような理由により車いすが動きだし、事故につながるおそれがあります。

- ・電気回路故障時の誤動作
- ・他人による誤操作

電源「切」



駐車ブレーキ「ロック」



使用前点検

グリップセンサへの浸水やセンサ・配線等に故障が生じると、操作していないのに動き出す可能性があります。使用前に必ずグリップセンサに異常がないか点検してください。

【確認方法】

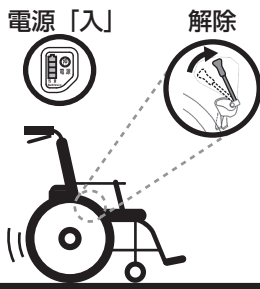


確認動画

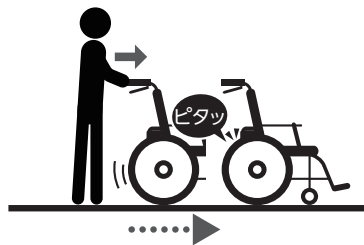


- ・人が搭乗していない状態で行う
- ・障害物のない平地で行う

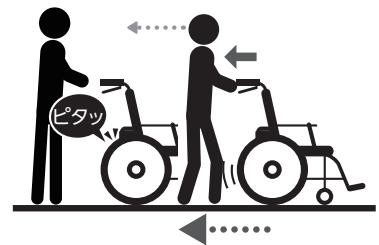
1 電源を入れ、駐車ブレーキを解除します。



2 グリップを軽く 10cm 程度前に押しながら手を離し、車体が 2 秒以上停止することを確認します。



3 グリップを軽く 10cm 程度後ろに引きながら手を離し、車体が 2 秒以上停止することを確認します。



- ・点検中は必ずグリップ操作可能な位置で待機してください。
- ・車体が止まらない場合はグリップを持ち、ハンドブレーキをかけて停止してください。

車体が止まらない場合は、使用を中止しお買い上げの販売店にご連絡ください。